

令和3年度第1回白井市地域公共交通活性化協議会

<議事概要>

日 時：令和4年1月20日（木） 午後2時から4時まで

場 所：白井市役所本庁舎4階 大委員会室

出席委員：高橋俊浩会長、板谷和也副会長、檜山雅紀委員、中村啓介委員、徳永敬委員、大橋淳一委員（代理 山崎氏）、柴崎俊哉委員、吉田英樹委員、伊藤春彦委員、高山弘美委員、今井庄一郎委員、永井英朋委員、佐藤義尚委員、渡邊昭仁委員、田村英記委員、山口一郎委員、申秀萍委員、池内一成委員、鈴木智子委員、竹内崇委員、竹田忠夫委員、本間賢一委員
22名

欠席委員：野口和雄委員、成田斉委員 2名

傍聴者：5名

1 開会

[事務局報告事項]

- 出席委員は委員24名中、22名（内、代理出席1名）であり、白井市附属機関条例第6条第2項の規定による会議開催要件（委員の過半数が出席）を満たしているため、会議は成立しています。
- 本会議は、白井市審議会等の会議の公開に関する指針により、会議録等含め公開します。

2 会長あいさつ

- ・ 本日はお忙しい中、本会議にご出席くださりありがとうございます。
- ・ また、日頃より白井市行政に御協力いただき感謝申し上げます。
- ・ 新型コロナウイルス感染症については、白井市でも明日からまん延防止等重点措置が適用されますが、委員の皆様には改めて基本的な感染防止対策の徹底について御協力いただきたく思います。
- ・ 本日の会議ですが、本年度1回目ということでございます。
- ・ 本日は、まず報告として昨年8月にコミュニティバス「ナッシー号」のルート及びダイヤを改正しておりますので、改正後の運行状況について事務局より報告させていただきます。
- ・ 次に議題としまして、白井市地域公共交通網形成計画の事業進捗及び次期計画策定についてということで、来年度末に現計画期間が終了する予定となっており、現計画の進捗状況や次期計画までの進め方について御審議いただきたく思います。
- ・ コロナ禍における地域公共交通については、交通事業者さんにとって大変厳しい環境にあると考えております。
- ・ 委員に皆様におかれましては、そういった地域公共交通の現状を踏まえ、忌憚のない意見を賜りたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

3 報告1「白井市コミュニティバスの新ルート・ダイヤ改正後の利用状況等について」

【議長】

- それでは、次第に従いまして議事を進行させていただきます。
- 報告1「白井市コミュニティバスの新ルート・ダイヤ改正後の利用状況等について」、事務局より説明をお願いします。

(事務局より、資料に基づき説明)

【議長】

- ただいま事務局より報告がありましたが、不明点や確認したい点がありましたら挙手をお願いします。

【委員】

- ナッシー号のルート及びダイヤ改正にあわせ、8月2日から25日まで無料乗車キャンペーンを実施しましたが、どのように周知をしましたか。

【事務局】

- 無料乗車キャンペーンについては、市のホームページや広報紙等で周知いたしました。

【委員】

- ナッシー号を利用される方はホームページを利用するのが苦手だったり、普段あまり使われない方もいらっしゃると思います。

【議長】

- 広報しろいへの掲載は1回だけでしょうか。

【事務局】

- 1回になります。
- 補足になりますが、無料乗車キャンペーンについては、チラシを作成いたしまして各センターにおいて配布を行いました。

【議長】

- 他に質問等ありますでしょうか。
- 事務局のほうから公共交通を取り巻く環境についても報告がありましたが、公共交通の現状について、事業者さんから個別の事情や事務局への補足等があればお聞かせいただきたくと思いますが、いかがでしょうか。

【委員】

- 白井市民の皆様におかれましては、バスをご利用いただき感謝申し上げます。
- 先ほど事務局からナッシー号の利用状況について御報告がありましたが、路線バスについても似たような状況です。
- 新型コロナウイルス感染症の拡大と連動して、路線バスも利用者減少の傾向にあります。
- 特に本年度の8月や9月頃は緊急事態宣言もあり、特に減少傾向が顕著で、ナッシー号改正についても厳しい時期にあたってしまったのかなと思っています。
- なかなか路線バス事業というのは利益率があまり高くないため、利用者が2割も3割も減少してしまうと、事業者の大幅な赤字となってしまいます。
- 事業者によっては資金を借入してなんとか凌いでいたり、大変厳しい状況にあります。
- 是非、バスの利用者に御留意いただきたいのは、電車やバスで密になって感染してしまうのではないかと誤解されてしまう方がいらっしゃると思いますが、車内はこの寒い時期でも換気しておりますし、運転手はもちろんマスクを着用して対策を講じております。
- また、電車やバスについては短時間のご利用になりますし、今では会話される方も非常に少なくなっています。
- 観光バス内でカラオケをしたりというような状況とは路線バスは違いますので、必要以上に過敏に考えなくても大丈夫だと考えております。
- 現に当社の社員百数十人は、2年前にコロナ禍が始まってから感染した者はおらず、事業者としても意識を高く持って運行をしておりますので、利用者の方には御留意いただきたく思います。

【議長】

- ありがとうございました。
- 他の事業者さんはいかがでしょう。

【委員】

- 普段より路線バスをご利用いただきありがとうございます。
- バス事業者の現状ということで、当社もこれまでの説明と同じような状況です。
- やはり各事業者が厳しい状況に置かれている中で、地域の足をどう確保していくかという点で、白井市については日頃から当社の悩み事等の相談に乗っていただいて、大変ありがたいと考えております。
- 今後インバウンド事業が見込めるだとか、V字回復が見込まれる事業分野がない当社のような路線バス主体の事業者ですと、今までコロナ禍で我慢してきた分、2倍3倍バスに乗ろうというような需要はありません。
- 今後、市や市民の皆さんに御相談させていただきながら、マイクロツーリズム等の需要喚起策なども考え、市民の皆さんに御利用いただければ収支の問題も存続の問題もだんだん明るい兆しが見えてくるかと思えます。

- 引き続き地域の足をどう確保していくかについて、利用喚起策を含めて協議させていただければと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

【議長】

- ありがとうございました。
- 他にございますか。

【委員】

- 先ほどの無料乗車キャンペーンの実施 PR にあたり、自治会への回覧の手法は検討されましたでしょうか。
- 実は私も無料キャンペーンの実施を知らなくて、知っていれば利用してみようかと考える方もいらっしまったのかと思います。
- 自治会の中で、高齢者でなかなか遠くに買い物に行けず、近くまで生鮮食品などの販売を誘致できないかというような話もよく上がります。
- そういうような中で、コミュニティバスを使って、ちょっとした買い物などに利用したいという方もいらっしやると思います。
- そのような方は、割と回覧板をしっかりと確認している方が多いので、今後の PR 活動にあたっては回覧板の利用も検討いただきたいと思います。

【議長】

- ありがとうございました。
- 広報の方法にあたっては色々検討いただきたいという意見でした。
- 他に確認や御質問等がありますか。

【委員】

- 報告1のデータの読み方ですが、ダイヤ改正後8月から12月の利用者が、同月比でマイナス16.1%ということですが、改正によって鎌ヶ谷方面行きがなくなったことによる減と解釈してよろしいのでしょうか。

【事務局】

- 利用者減の大きな要素の1つとしては、西ルートの新鎌ヶ谷方面行きへのルートを廃止したことによるものになります。
- 資料の3ページに、ルートの改正前後の利用者が多いバス停を掲載しております。
- 改正前でも改正後でも一番多いのが「西白井駅」ですが、改正前が9,966人、改正後が7,542人ということで、この減少が新型コロナウイルスの影響もあり、新鎌ヶ谷方面行きへのルート廃止の影響もあると考えております。
- また、改正前の利用者数順位の3番目に「新鎌ヶ谷駅」がありますが、利用者が5,494人となっており、これが改正後に丸々減少していると推察できます。

- 他にも、この資料から駅圏での利用者が多いというのが読み取れており、改正前の「千葉ニュータウン中央駅北口」や「白井駅南口」、「白井駅北口」バス停については改正後に利用者が増えています。
- このことから、コミュニティバスを利用して駅へ向かう方が多いと考えられます。

【議長】

- ありがとうございました。
- 他に御意見・御質問等ありますか。

(意見なし)

【議長】

- 後日、何が確認したいことがありましたら事務局までお問い合わせください。
- 報告 1 については終了させていただきたいと思います。
- それでは、換気のため休憩いたします。

(休憩)

4 議題 1 「白井市地域公共交通網形成計画の事業進捗及び次期計画策定について」

【議長】

- それでは再開いたします。
- 続きまして議題 1 「白井市地域公共交通網形成計画の事業進捗及び次期計画策定について」、事務局より説明をお願いします。

(事務局より、資料に基づき説明)

【議長】

- ただいま事務局から説明がありましたが、ご不明な点や確認したいこと、御意見等ありましたら発言をお願いします。

【委員】

- 説明の中で計画の期間延長が示されていますが、地域公共交通網の形成にあたり、今社会で言われているような SDGs の理念をどのように組み合わせていくことを考えていますか。

【事務局】

- SDGs への対応については、いろいろな考え方があり、例えば環境問題については各公共交通機関における CO2 の排出などが課題として挙げられています。

- 技術の進歩により、車両の動力がガソリンから電気等への切り替えが進んでいくと思われませんが、現状では未だ電気自動車などへの転換が進んでいないため、次期計画期間においては情報収集等に努めたいと考えております。
- CO2 の排出などの環境問題以外にも SDGs で掲げられている目標がありますが、市の方針等と整合を図りつつ、取り入れられるものについては積極的に取り入れていきたいと考えております。

【議長】

- SDGs が各事業にどのように関わっていくかお知りになりたいということだと思しますので、本計画についても SDGs の 17 の目標との関連性が示されれば良いという御意見だと認識しておりますが、いかがでしょうか。

【委員】

- そうです。

【議長】

- SDGs と次期計画について、どのように関連しているのか示し方を検討いただきたく思います。
- 他に何かありますか。

【委員】

- 市内における交通結節点の強化ということで、北総鉄道にもご協力いただいて、白井駅付近には市役所、病院、高校がありますので、市内各駅に快速電車を停車してもらうよう考えていかなければならないと思います。
- そうすることで、停車する電車の本数も増加し、利用者も増えると思います。

【事務局】

- アクセス特急の停車については、以前から要望を多くいただいており、北総鉄道との協議などにあたっては、都度要望を伝えているところです。
- 実際にアクセス特急を運行している京成電鉄からは、アクセス特急を停車させる考え方としては一定程度以上の利用がある駅を基本に考えており、また速達性についても重要と考えているため、すぐに白井駅等に停車するのは難しいという意見を伺っています。
- しかしながら、北総鉄道と京成電鉄では、以前よりは新鎌ヶ谷駅での乗り継ぎをスムーズに行えるように等の御配慮は頂いているところです。
- 本計画の中にそのような内容を盛り込むかどうかについては、計画期間延長の協議の中で考えていきたいと考えております。

【議長】

- 今後の計画の延長に伴う見直し、もしくは次期の計画の中でどう取り組んでいくかという検討の中で今の意見を取り入れていくかどうか本協議会の場において議論していければと思います。
- 今の新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえつつ、計画をどう進めていくのか、あるいはデータを採っていいのか、等について御意見があれば伺いたくと思いますが、いかがでしょうか。

【委員】

- 計画の延長につきましては、やむを得ないというのが私の立場です。
- 国の制度で数年ごとに計画を策定することになっているのは、計画を策定した当時や、施策が進んだり、また人口が変動するというような色々な影響がある中で、現行の計画のままでいいのかどうか判断し、変更が必要であれば変えなければならないからだと考えております。
- 今回の会議で、現在の進捗状況について率直な現状の評価をしていただいて、順調に推移しているものから見直しが必要なものまで、きちんと整理されていて、これをもとに現行の計画を変えないままでできる限り施策を改良して実施していくということであれば、問題ないと考えております。
- 特に、交通結節点の整備や効果的な使い方などについては、計画の策定にあたり色々な議論を重ねた結果、現行の目標となっているわけですが、実際に動いていくためにはお金も手間もかかるため、引き続き継続して計画を進めていただきたいと思います。
- それと、企画乗車券については、本計画策定当時の議論では定期的にどこかの期間で無料で乗車を体験できる機会を設け、それが市民に浸透して乗ってくれば良いなという考えのもとだったのですが、単発で1回実施して、それで終わりというのは勿体ないと考えます。
- 企画乗車券は、例えば1日何度乗車しても無料であるとか、500円であるとか、様々な実施方式がありますので、そういったものをコミュニティバスのみならず市内には事業者さんも複数ありますし、比較的ダイヤでも利用しやすいものだと思っていますので、そういったところも含めて利用しやすい企画乗車券を検討してもいいのかなと考えております。
- そういった点を踏まえ、計画を延長するというのであれば、今後進めていかなければならないところや、実施可能な事業を重点的にやっていくなど、この協議会の場で議論させていただければと思います。
- それともう一つ、これまでも多くの意見が寄せられている新鎌ヶ谷ルートを廃止したうえで、特に北ルートのサービスを向上させたことですが、事務局からの報告でも示された通り、やはりサービスを厚くしたところでは利用者が増えております。
- これまでは、北ルート沿線に住んでいる方には少し我慢をいただいて、新鎌ヶ谷へのルートを運行していたということになりますが、今回のルート及びダイヤ改正を行って、逆になったというような状況です。
- 本来このような状況は避けなければならなくて、なぜこのような状況になるかというと、運行するバスの台数が決まっているのが1番の原因で、どこかを手厚くしようとすると、どこかを薄くしなければならないということがどうしても起きてしまいます。

- 次期計画を策定するまで少し時間がありますので、新型コロナウイルス感染症の影響で、各事業者が話しているように利用者が減っていて、各社の経営が苦しくなっている中で、市としてどのように公共交通の維持の仕方をしていくのか、これまでの常識に囚われない方法も含めて、検討していかなければならないと感じます。
- 代替手段についても色々御検討いただいていると思いますが、バスを1台新たに増やすということではないにしても、路線バスの在り方が色々あり、単に路線バス事業者さんの採算路線として走らせるというだけではなく、市として独自に補助を支出して運行するというのもやっでできない訳ではありません。
- もちろん、バスをもう1、2台増やせばサービスが向上しますので、そういったことも御検討いただいてもいいと思いますが、そうした市としての公共交通に対する考え方についてもゼロベースで検討いただけるとありがたいと考えております。
- また、先ほどの話の中でSDGsという話がありましたが、公共交通は存在するだけでSDGsに貢献しているという部分があります。
- というのも、自家用車で移動すると、1人が移動するために車を使うことになりますので、どうしても石油を無駄に使っていることになります。
- 公共交通のようなたくさんの方が一緒に乗って移動する手段があることで、石油の利用の節約になり、結果として地球環境にやさしい移動手段になります。
- また、自身で運転ができなくても公共交通のように運転手がいれば移動させてもらえるという意味でも、持続可能なまちを実現させるための手段としても有効です。
- そういった点で、公共交通はSDGsにおいても価値があるということで、今まで以上に予算を割いていくべきであると考えております。
- 現状これまでは新鎌ヶ谷まで比較的安い値段で行けていた方にも苦勞を強いている状況ですので、なるべく早い段階で解消できればいいと考えており、私もできることを協力していきたいと考えておりますので、ぜひ御検討をお願いしたいと思っております。

【議長】

- ありがとうございました。
- 計画の延長や次期計画の策定において全体的な見直しを含めてご健闘頂ければという意見でした。
- 他にございますか。

【委員】

- 2点質問があります。
- 1点目として、資料2ページ目の右側中ほどに記載されている、公共交通を学習するための「なるほど行政講座」ということで、市民を対象にされた行政講座ということですが、どのような形式で実施されているのか、またどのような方が参加されているのか、年に何回実施しているのか、教えていただきたい。

- 2点目として、資料の7ページの「代替手段の課題について」において、★や○や×の意味を確認させていただきたい。

【事務局】

- 1点目のなるほど行政講座は、市の実施している施策等を市民へわかりやすく伝えるため、市が講座を開催しております。
- 講座のメニューには、財政や環境など様々なものがあり、その中の一つとして市内の公共交通に関するメニューがあります。
- この講座の申し込みについては、自治会や市民の集まりなどの団体に個別に申し込んでいただき、Zoomだったり出前だったり、様々な手段で講座の実施を市全体として取り組んでいます。
- 公共交通に関する講座については、今回のコミュニティバスの改正や現状の公共交通の施策、Maasやデマンド交通などを踏まえたものになっております。
- 2点目の「代替手段の課題について」の★、○、×の意味について、★はポイントとなる部分、○についてはプラス要因、×についてはマイナス要因というような表記をしています。
- 「①乗合タクシーやデマンド型交通の導入」については、運行委託の費用がコミュニティバスより大きくなる懸念や、デマンド型交通の導入台数によって利便性が異なることをポイントとして挙げております。
- 「②路線バスによる乗継」については、例えば乗り継ぎにあたってはICカードを利用すると利便性が高いのではないかと考えられますが、普段利用している高齢者については回数券等の現金で利用されている方が多いため、ICカードに限定してしまうと高齢者が利用しづらくなってしまわないか、という懸念から×を付しております。
- 代替手段の検討にあたっては課題が色々あり、具体的な手法が決まっていないため、現状では難しい状況です。

【委員】

- 代替手段の課題については分かりました。
- 「なるほど行政講座」のほうで、これは市で講座を用意してあって、それに対して市民の集まりが申し込みをすれば受講できるということですが、昨年8月に実施された講座は市民から申し込みがあって実施したということでしょうか。

【事務局】

- その通りです。

【議長】

- 他にありますか。

【委員】

- 大山口中学校周辺から新鎌ヶ谷までは自転車が多く走っており、また高校生については歩いている方もいらっしゃいます。
- 先ほどのSDGsの話の中で、CO2削減の観点から自家用車よりも公共交通を利用しましょうというような話がありましたが、人によっては自転車という移動手段を検討するのではないのでしょうか。
- 公共交通施策の中では、自転車をもっと推進していくのか、推進するのであれば自転車専用道路等の整備であるとか、今回の公共交通機関の枠組みに入らないのかもしれませんが、自転車についても考え方について、今後の検討に取り入れてはいかがでしょうか。

【事務局】

- 自転車に関しては、都市計画あるいは道路行政として前々から課題として捉えております。
- かつてはシェアサイクルなどが出始め、最近では自転車活用推進法などが制定され、自転車の活用の幅を広げていきたいと思いますというような流れがあります。
- また、健康の増進などの観点からも自転車の活用が今注目されているところです。
- 自転車を安全に活用してもらおうということになると、自転車専用レーンを整備や、整備したとしても車が停まっていたりするなど、課題があるということ先進の自治体等から聞いているところです。
- 本協議会が所管する地域公共交通網形成計画においては、例えばバス停まで自転車で移動するため、バス停の近くに駐輪場を設ける等が想定されますが、自転車行政として市はまだ計画などはありませんが、本計画の中で取り入れられるものがあれば取り入れていきたいと考えております。

【議長】

- 公共交通の枠組みの中で自転車がどのような立ち位置になるのかまだはっきりしていませんが、【委員】は何か意見等ございますでしょうか。

【委員】

- 自転車についてもSDGsの観点から環境影響がほとんどない、非常に良い交通手段になりますので、基本的には利用を推進しなければならない交通手段であると認識しています。
- 公共交通との関連でいうと、例えばバスの運賃が上がると自転車を使おうという例が多くありますが、あまり気にせず、バスを利用したい人はバスを、自転車を利用したい人は自転車を利用するというようなものがあるべき姿であると考えております。
- 都心部においては駐輪場の整備、そして駐輪場を利用した際にバス運賃を少し割引するだとか、あるいは駐輪場の整備そのものも改善する必要があるれば、可能であれば計画に盛り込んでいくべきだと考えております。

- 市で改善可能なのは白井駅と西白井駅だと思いますが、そういったものも交通結節点の整備として考えるべきで、具体的な整備を計画に盛り込んでいくのも良いと考えております。
- 例えば、新鎌ヶ谷まで自転車だと若干遠いような気もしますが、若い人だと普通にできるような気もします。
- 新鎌ヶ谷に普通に自転車が止められるのであれば良いのですが、停める場所がない場合には市として駐輪場も確保しなければならないかもしれません。
- そうすると市の境界を越えてしまいますので、こういった手続きなどになるかはわかりませんが、そういったことを要望するののも一つの手だと考えます。
- ただ、自転車が安全に移動できる環境づくりが何よりも一番だと考えておりますので、自転車専用レーンが整備されていること等ができてほしいと考えております。
- これは公共交通の話ではなく、道路整備の担当で実施する必要がありますが、こちらから意見として伝えることもありだと思っています。
- いずれにしても自転車についても前向きに御検討いただきたいと思います。

【議長】

- ありがとうございました。

【委員】

- 先ほどのお話を伺った中で、限られたリソースで公共交通機関を応援していかなければならないということであれば、例えば自転車に乗れる方はもっと乗ってください、乗れない方にはもっと手厚く、例えば小さなお子さんがいらっしゃるお母さんは公共交通機関の利用が無料だとか、そういったところに一点集中するのもありなのではと思います。
- 自転車に乗れるのであれば、それは健康増進にもつながるため、限られたリソースを本当に困っている人の利便性に充てるというのも一つの考え方だと思いました。

【委員】

- ニーズを把握するのが大事だと思います。
- 提案のあった事業がしっかり利用されれば良いのですが、やってみないと分からないで大赤字等になってしまうと困るので、現計画の中にも調査・研究を行うとあったと思いますので、その中で市のどのような地域にどのような人がお住まいで、その方々の交通に対するニーズがどのようなものなのか、というのを次期計画の策定前に把握しておくことが大事だと思います。
- その中で提案のあったようなニーズが大きければ、積極的に実施すべきだと考えます。
- ただし、自転車を使える人にはもっと使ってくださいと誘導するかどうかは少し考えるところで、基本的にはそれぞれの方の状況に応じて交通機関を自由に決めてもらうというのが私の意見です。

【委員】

- そういった意味では、例えばシニアカー等、色々な交通手段があるので、シェアサイクル的な利用方法を市で検討する等もあると思います。

【委員】

- 今、国土交通省で様々な交通機関を正しく使えるように実験も含めて様々な施策を実施しています。
- それは、計画というよりは計画の中で実施事業を決め、そのための方策として実験をしましょうというようなものを立ち上げて実施していることになろうかと思います。
- そういった色々便利になっているだということを知っている市民が増えていくことが望ましいですが、実験を実施するとなると色々課題もあるため、少しずつ順番に進めていくのがいいのではないかと思います。

【議長】

- ありがとうございました。
- 他にありますか。

【委員】

- 今の話で、バス停に行くまでに歩けなくて、バス停まで自転車で行くというような見直しをしていただきたいと思います。
- また、昨年8月のナッシー号改正で各ルートの本数が増えて大変便利になったのですが、便利になった反面、各センターの講座にどのルートに乗っても間に合わないように思います。
- 例えば福祉センターで10時開始の講座だと、時間に間に合わない時刻設定になっています。
- また、センターの方も講座を開きたいんだけど、間に合う時間がないという意見を聞いています。
- その点について、今後の見直しで検討いただきたいと思います。
- もう一つ提案として、帯広で実施されている例ですが、路線バスの中にお店を作って、各バス停で買い物ができるような制度を作り、住民には大変好評であるとのことでした。
- 白井でもナッシー号に取り入れられれば、もっと助かるバスになるのではないかと思います。
- 以前、自動車の運転免許証を持っていたときは何でもできたのに、返納して、自分の足が悪くなって、自転車にやっと乗っている状況になったときに、ナッシー号はとっても大事な交通機関であると思っています。
- 今後の見直しの中で、検討いただければと思います。

【議長】

- 今後、次期計画の検討もありますので、情報がありましたら事務局へ提供くださいますようお願いいたします。

【委員】

- 今の帯広の例を出された買い物バスについては、市の取り組みというよりは事業者さんが経営を多角化していく中で実験として実施していると認識しています。
- 例にある事業者さんは普通の路線バス事業者さんではやらないような実験を次々に実施しており、例えばイオンの買い物に使う電子マネーでバスに乗れるようにしたりしています。
- そういような実験的な事業を白井市でできるかどうかは分かりませんが、買い物に対する支援についても計画の中に入れるのはあっても良い話だと思います。
- ただし、結局この事業もどれだけニーズがあるかというのが大事になってきます。
- 北海道の場合、特に冬ではマイナス 20℃になるので、なかなか外に出られないというような要因もあります。
- 白井市はそこまでではありませんから、住民が「これがあれば長く住み続けられる」というような施策を整理していくのが大事だと考えますので、次期計画の策定までに調査が重要になると考えます。
- アンケートを採ったり、グループインタビューという手法もありますので、いろいろな意見を集めて、今後も御検討いただければと思います。

【議長】

- ありがとうございました。
- 他にありますか。

【委員】

- 新鎌ヶ谷方面へ意見として、23 件あったと記載があります。
- その中で、ほとんどの意見が「廃止は困る」というものでしたが、新鎌ヶ谷に行くのであれば西白井駅に出て、そこから行けばいいので、むしろ北側の住民にとってはバスしか交通手段がないわけですよ。
- そういうことから、今回の改正は非常にいいものだったのではないかと思います。
- 私の場合、西白井のほうに住んでおりますが、西白井駅に歩いていくと 30 分以上かかるので、バスの時間を調べて新鎌ヶ谷まで直行で行きます。
- いずれにしても、北側の住民が 20 件も良かったという意見があったので、私個人としてはこのルート改正は良かったのではないかと思います。

【議長】

- ありがとうございました。

- 他にありますか。

(意見なし)

【議長】

- ここまでで大方の意見が出揃ったという理解とさせていただきます。
- コロナ禍ということで、なかなか通常時の実績とは比較ができない中で、現計画を延長したうえで、現計画と次期計画を見直し・構築をしていくという事務局の進め方ですが、この進め方の案につきまして異議があれば御発言いただきたいと思います。

(異議なし)

【議長】

- 異議なしということですので、事務局の案のとおり進めることに決定したいと思います。
- 皆様の貴重な意見・議論をいただきありがとうございます。

5 その他

【議長】

- 「その他」について、委員の皆様や事務局から何かありますでしょうか。

【委員】

- 関東運輸局からのお願いということで、昨年 12 月の終わりにプレスリリースしましたが、バス・タクシーの利用・活用についてのお願いです。
- 関東運輸局のほうではこれまでも 4 回ほどバス・タクシー等の利用啓発をしておりましたが、12 月には昨今の新型コロナウイルスの新株が蔓延する前の状況でしたので、緊急事態宣言も解除して、これから新しい 1 年に向けて頑張っていこうということでプレスリリースさせていただいたところですが、先ほど会長からもありました通り、千葉県もまん延防止等重点措置が実施され、非常に残念な状況になっております。
- 先ほど事業者さんからも厳しい状況が続いていると発言いただいているところですが、そんな中でも利用者が安心して公共交通機関を利用できるようニューノーマルということで対応を進めていただいているところです。
- 新型コロナウイルス感染症の感染防止対策についても、車内の換気や乗務員のマスク着用、定期的な車内消毒などを実施しており、安心して利用できる状況となっております。

- お願いとして、まず国・県・市のほうで様々な支援を実施しているところです。
- 白井市においても事業者さんへの支援だったり、ワクチン接種の際のタクシー等の活用についてもお願いしております。
- また、令和3年12月に国の補正予算が可決され、地方創生臨時交付金も追加されましたので、白井市についても再度支援についてご検討いただきたく思います。
- 公共交通は、現在様々な支援をしておりますが、存続にあたっては利用してもらうことで初めて成り立っているものです。
- 将来にわたって一人一人が生き生きとした社会生活を続けるため、地域の貴重な公共交通機関をなくさないよう、社会全体で支えることが大変重要です。
- 皆様におかれても、外出される際には必要な感染防止対策を講じたうえで、自分が利用することにより公共交通機関が維持されるという意識をもって、是非バス・タクシーを利用いただきたく思います。

【議長】

- ありがとうございました。
- 協議会としても公共交通の利用啓発が一つの課題であると捉えています。
- 他にございますか。

【事務局】

- 次年度の本協議会の開催については、年2回を予定しております。
- 時期などの詳細については、改めてお知らせします。
- 計画期間の延長に伴い、目標数値の変更、計画の評価について等の議題を予定していますので、御協力をお願いいたします。

【議長】

- 他に連絡事項等ございますか。

6 閉会

【議長】

- それでは他にないようですので、以上を持ちまして令和3年度第1回白井市地域公共交通活性化協議会を閉会いたします。長時間お疲れ様でした。